

研究機関：広島大学

研究課題名	Sustained Viral Remission(SVR)後における CD4 数増加に関する因子の検討
研究責任者名	広島大学病院輸血部 准教授 藤井 輝久
研究期間	倫理委員会承認後～ 2016年3月
対象者	2004年10月から2015年5月までに広島大学病院血液内科外来通院中のHIV/AIDS患者さんのうち、本院でARTを導入し、SVRが確認されて、半年以上経過した方。
意義・目的	抗レトロウイルス療法（ART）によりウイルスが血中から消失した状態（Sustained Viral Remission：SVRと言います。）になっても、免疫の指標であるCD4数が増加せず日和見感染症の予防継続等に苦慮することはよくあります。そのため、SVR後にCD4数が増加しない原因を臨床データより明らかにすることを目的として、この研究を行います。
方法	本研究は、全て診療録（カルテ）情報を転記して行います。 カルテから転記する内容は年齢、処方薬（抗HIV薬）、血液検査（CD4、ウイルス量）です。 （個人が特定出来る情報、姓名、ID、住所、は転記しません）
共同研究機関	なし
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞1-2-3 T e l : 082-257-5581 広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久